

信州大学

## 信州大学農学部附属演習林における 2022 年のトピック

信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

### 教育共同利用

2022 年は新型コロナウイルスが依然として収束しない状況であったが、「AFC 利用における感染拡大防止対策」を徹底し、学生宿舎の利用を一部制限する等した上で学外の教育利用、研究利用の受け入れを行った。2022 年度は 11 月末現在で、京都大学、山形大学、慶應義塾大学、筑波大学、横浜国立大学、岐阜森林文化アカデミー等が西駒ステーション、手良沢山ステーション、野辺山ステーションにて教育利用を行った。

### 公開森林実習

公開森林実習は予定していた 5 つのプログラムをすべて開講した。受講者には抗原検査キットを郵送し、陰性であることを確認した上で実習に参加していただいた。

### 生産事業

国有林が素材生産請負事業の入札開始時期を早めたこと等の理由により、間伐事業の請負業者の確保に苦勞している。そのような背景のもと、96 年生高齢ヒノキ林分では直営作業による定性間伐と林業専用道の開設を行っている。直営作業と連動して各種研究と教育プログラムの受け入れを行い、演習林の生産事業と教育研究利用の両立を目指している。

### 木材販売

昨年度はウッドショックによる木材価格の高騰により、2,300 万円の高収入を得たが、木材価格が落ち着きを取り戻した本年度の木材販売収入は例年並みに戻りそうな気配である。



96 年生ヒノキ林における直営による林業専用道の開設と定性間伐